

(4) 令和6年度がん対策の取組状況

「第4期山口県がん対策推進計画」に基づき、「がんの予防・早期発見の推進」、「がん医療の質の向上」、「がん患者及び家族等の療養生活の質（QOL）の向上」を図るため、総合的ながん対策に取り組めます。

I がんの予防・早期発見の推進

新 女性と働く世代のがん検診キャンペーン推進事業【医療政策課】

がん検診受診率の向上に向けて、女性を対象とした普及啓発を強化するとともに、職場でのがん検診の受診を促進

<女性のがん検診取組強化>

1 やまぐち 3070 運動

- ・「30」代女性の子宮頸がん検診受診率「70」%を目指す
「やまぐち 3070 運動」を市町及び県医師会との連携により展開
- ・シンボルマーク「3070 運動ちよるる」を作成



2 やまぐち^{サンマルナナマル}3070・ピンクリボンキャンペーン

- ・「やまぐち 3070 運動」の一環として、子宮頸がん検診又は乳がん検診の受診者を対象として、抽選で景品を贈呈する応募キャンペーンを実施

(1) キャンペーン概要

応募対象	子宮頸がん検診又は乳がん検診のいずれかを受診した県内に居住する女性
受診期間	令和6年4月～令和6年12月
受付期間	令和6年6月～令和7年1月
応募方法	専用ホームページ又は応募用紙
抽選	(上半期) 令和6年10月 (457件の応募) (下半期) 令和7年2月
応募者数	1,076件 (令和6年12月末日までの応募分)
景品	やまぐち 3070 賞(選べるデジタルEギフト1,000円分) 125名×2回 やまぐちピンクリボン賞(QUOカード1,000円分) 125名×2回 協賛企業賞(協定企業4社、包括連携企業4社から提供) 協定企業: アフラック、東京海上日動火災保険、丸久、第一生命保険 包括連携: 日本生命、フジ・リテイリング、イズミ、レノファ山口
リーフレット送付先	各健康福祉センター、各市町、関係機関・団体、医療機関、薬局、協定企業、協力事業所、大学等、約600か所

(2) 県民への普及啓発・広報

- ・キャンペーン特設サイトの設置
- ・アナログ広報資材の作成・配布等（約 600 箇所へ配布）
（リーフレット、ポスター3種、三角ポップ、ミニのぼり）
- ・SNS（Instagram、LINE、YouTube）、動画、マンガを活用した情報発信
- ・地域情報誌（トライアングル）への記事掲載
- ・商業・飲食施設での広告掲載（コーヒーボーイ県内 8 店舗）
- ・協定企業、協力事業所等から従業員や顧客等へ周知
- ・ピンクリボン月間と連動したPR活動（委託事業者の独自提案）
 - ・インフルエンサーを活用した情報発信（動画再生回数：30,000 回以上）
 - ・ラジオ番組（エフエム山口「ひといき」）を活用した広報
 - ・エフエム山口と連携したがん予防に向けた女性に贈るメッセージの募集・発表
⇒エフエム山口「ひといき」内で募集及び入賞作品発表（応募総数：106 通）
 - ・街頭大型ビジョン（デジタルサイネージ）等を通じた広告掲載（県内 11 カ所）
 - ・山口県立大学での出張授業等の開催
⇒講師に新井道子さんを招いて特別授業を開催（参加者：50 名）
⇒がん検診（乳がん、子宮頸がん）の実施（がん検診車の派遣）

3 市町職員向けがん検診受診勧奨等研修会

- ・がん検診受診率向上に効果的な受診勧奨・再勧奨等の取り組みを拡大するための基盤づくりとして、市町担当者を対象とした研修会を実施
 - 【日 時】令和 6 年 9 月 5 日（木）13：30～16：30
 - 【会 場】県庁視聴覚室
 - 【講 師】株式会社キャンサーズキャン 代表取締役 福吉 潤

<職場等への働きかけ（大人のがん教育）>

4 協定企業向研修会の実施

- ・協定企業の職員（主に生命保険会社）を対象に、顧客や従業員への受診促進PRに役立つ知識習得を目的とした研修会を開催。
 - 【日 時】令和6年8月26日（月）13：30～15：30
 - 【会 場】山口県健康づくりセンター
 - 【参加者】29名

5 事業所に対する出張講座の実施

- ・県内事業所に対する県職員等を講師とした出張講座を10月から実施
 - 【申 込】 4 件（令和 7 年 1 月末時点）

6 がん副読本「がんを知りがんを理解しよう」の作成・配布

- ・中学生から大人までの幅広い世代を対象とした「がん教育副読本」を作成
- ・関係機関、協力事業所等に配布（約600箇所へ配布）

◇ がん検診受診促進強化対策事業【医療政策課】

がんの早期発見・早期治療のため、検診受診率向上に向けた取組を実施

<意識啓発>

1 がん検診普及啓発・受診勧奨強化

- ・がん征圧月間（9月）における全県的なキャンペーン等の実施
- ・やまぐちピンクリボン月間（10月）におけるピンクリボン着用の呼びかけ及び公共施設等でのライトアップの実施（10市20施設）
- ・職域で受診機会のない被扶養者（家族）に対する市町がん検診の周知・啓発

2 がん検診県民サポーターの養成

- ・がんに関する正しい知識やがん検診の重要性を理解した上で、自らががん検診を受診し、地域において身近な方々にがん検診の受診を勧めるがん検診県民サポーターを養成

【R6認定数】 189人（令和6年12月末時点）

【延べ認定数】 1,958人（H27～）

3 がん検診受診促進協力事業所の登録

- ・従業員へのがんの正しい知識の普及や顧客等に対するがん検診の重要性などの理解促進に取り組む事業所を登録

【登録数】 536事業所（令和6年12月末時点）

<受診しやすい環境整備>

4 休日等がん検診受診体制の整備

- ・9月の「がん征圧月間」及び10月の「やまぐちピンクリボン月間」に合わせ、休日や平日夜間のがん検診実施体制を確保

【内 容】 乳がん・子宮頸がん、大腸がん（二次検診：精密検査）

【時 期】 9月から12月までの4カ月間

【実施医療機関数】 延べ66機関

【対象検診】

休 日	乳がん・子宮頸がん（一次検診）、大腸がん（要精密検査）
平日夜間	乳がん・子宮頸がん（一次検診）

<がん検診の精度管理>

5 検診精度向上のための検査従事者への専門講習会等の実施

- ①大腸がん検診従事者指導講習会（兼臨床検査技師会）
- ②胃がん・大腸がん検診読影従事者指導講習会（県消化器がん検診研究会）
- ③胃がん検診X線撮影従事者指導講習会（県診療放射線技師会）
- ④子宮がん・肺がん検診細胞診従事者指導講習会（県臨床細胞学会）
- ⑤肺がん検診読影従事者指導講習会（県肺がん研究会）
- ⑥肺がん検診従事者総合指導講習会（県予防保健協会）
- ⑦子宮がん・乳がん検診従事者指導講習会（県産婦人科医会）
- ⑧胃内視鏡検診従事者養成研修（県医師会）

◇ 生涯を通じた健康づくり推進事業【健康増進課】

＜健康づくりの「見える化」＞

各世代に向けた健康づくりのための情報の「見える化」

1 健康情報収集発信強化事業

- ・ホームページ「健康やまぐちサポートステーション」による情報発信の強化

＜健康づくりの「日常化」＞

健康づくりを主体的に、取り組むことによる「日常化」

2 たばこ対策促進事業

- ・たばこの煙のない環境を広げ、望まない受動喫煙を防止【受動喫煙防止】
受動喫煙による健康への影響等の正しい知識の普及
- ・「たばこを吸い始めたくない」意識・態度の向上【喫煙防止（未成年、妊産婦等）】
- ・効果的な禁煙サポートにより、禁煙成功を支援【禁煙支援】

＜県民の主体的な健康づくりを支援する仕組みの充実＞

行政、関係団体をはじめとした健康づくりの推進体制の活性化、強化により活動を促進させることで、「県民の主体的な健康づくりを支援する仕組みを充実」

3 健康増進推進体制強化事業

- ・やまぐち健康応援団の機能強化
登録事業所の拡大に向けた普及啓発
- ・やまぐち健康応援学生サポーターの養成
県内の大学生等を対象とした養成研修の開催

4 やまぐち健康経営企業認定制度

従業員の健康管理を、経営的視点から実践する「健康経営」の取組企業を、県が認定等を行い社会的な認知や評価を向上させることで、更なる取組企業の増加や取組の推進を図り、壮年期を中心とした健康増進を促進

新 健康やまぐち食環境整備推進事業【健康増進課】

健康に関心の薄い者でも自然に健康になれる環境等を整備し、健康寿命を延伸させるため、中食・外食関係民間事業者への支援や働く世代等への働きかけを実施

1 健康的で持続可能な食環境づくり推進事業

- ・スーパーや飲食店等の事業者がヘルシーメニューを継続して提供できるよう、産学官連携による支援体制を整備
- ・事業者と学生の共同によるヘルシーメニューの開発
- ・栄養士会によるヘルシーメニューの栄養価計算の実施

2 働く世代の食生活改善推進事業

- ・中食・外食の選び方を啓発するための事業所向け講習会の開催
- ・特定給食施設等（社員食堂）における減塩の実証

3 次世代の生活習慣病発症予防事業

- ・次世代の生活習慣病発症を予防するため、小中学校での講演会を実施
- ・民間団体等による食育への補助

◇ やまぐち健幸プロモーション推進事業【健康増進課】

「やまぐち健幸アプリ」を活用したプロモーションを展開し、運動習慣の定着促進や健康づくりに関する全県的な機運醸成を図る

＜健康づくりの「取組支援」＞

- ・健康づくり動画の配信
屋外活動の減少による運動不足に対応するため、運動動画を配信
- ・アプリのウォークコース追加
バーチャルウォークコース・リアルウォークコースを追加し、県民のウォーキングをさらに促進

新 HPVワクチン接種促進事業【健康増進課】

女性の妊娠・出産に大きく影響する子宮頸がん罹患を予防するため、HPVワクチンの接種促進に向けた積極的勧奨を実施

1 若い世代の接種対象者やその家族の心に響く普及啓発の推進

(1) HPVワクチン接種に関心を高めるための啓発動画の作成と、県ホームページやSNSなどを活用した効果的な情報発信

- ・接種開始の目途である9月末まで集中的な啓発活動を展開
- ・15秒動画2本の作成（キャッチアップ接種編：25万回再生、定期接種編：10万回再生）、TVCMやSNS等で放映（県HPにも掲載）

(2) HPVワクチンの効果や接種しないことによるリスクなど、ワクチン接種を身近に感じることでできるリーフレットの作成

- ・啓発動画作成と連動した、リーフレットの作成（5万部）
- ・市町、医療機関・団体、大学・専門学校、包括連携協定締結等の関係企業へ配布

(3) 地域情報誌やテレビ番組等による、幅広い世代への情報発信

- ・タウン情報誌（山口トライアングル）での特集記事の掲載（令和6年6月号）
- ・情報番組（YAB局『Life Up 教えて先生』）への出演（令和6年9月8日放映）

2 多くの情報媒体による周知啓発、関係団体独自の取組との協働

- ・知事定例会見、県医師会定例会見での接種勧奨
- ・厚生労働省「HPVワクチン『キャッチアップ接種』
全国7大学での周知キャンペーン（山口県立大学）

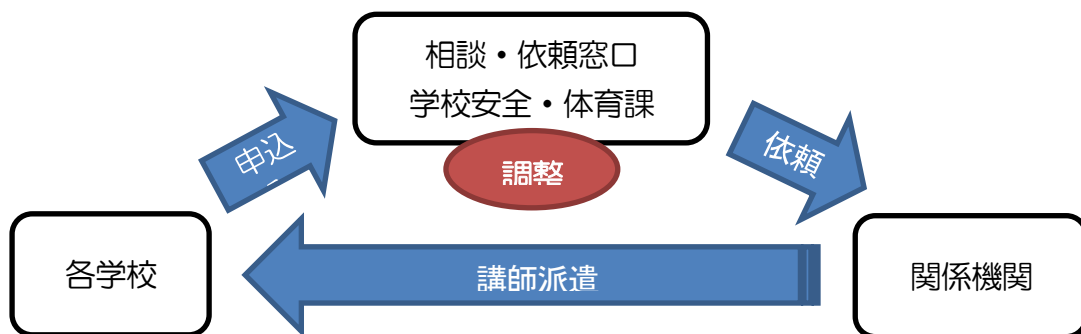
◇ 学校におけるがん教育推進事業【学校安全・体育課】

県内の小・中・高等学校に外部講師（大学教員、看護師、がん経験者等）を派遣して公開授業や講演会を実施するとともに、がん教育に係る外部講師の拡充を図る。

<学校におけるがん教育の推進>

1 外部講師の派遣等に係る相談窓口

- ・各関係機関（市町地域保健主管課・各健康福祉センター・県内がん診療連携拠点病院等）への外部講師の派遣等に係る相談窓口を県教育庁学校安全・体育課に設置
- ・各学校は、事前に相談内容や依頼内容を明確にした上で、相談窓口連絡
- ・事前に各学校から相談や依頼のあった内容をもとに、県教育庁学校安全・体育課が各関係機関の担当課等に依頼し調整



【外部講師派遣件数】 9件

【派遣先】 小学校 3校、中学校 2校、高等学校 4校

【講師内訳】 医師 1件、がん経験者 5件、緩和ケアボランティア 1件、
学校薬剤師 1件、大学講師 1件

<外部講師の拡充>

2 研修会の実施

- ・医療従事者、行政関係者、がん経験者等を対象とした、がん教育に係る外部講師の拡充を図るための研修会を実施

【開催日時】 令和6年12月19日(木) 14:30~16:00

【開催方法】 Zoomによるオンライン開催

【参加者】 13名

II がん医療の質の向上

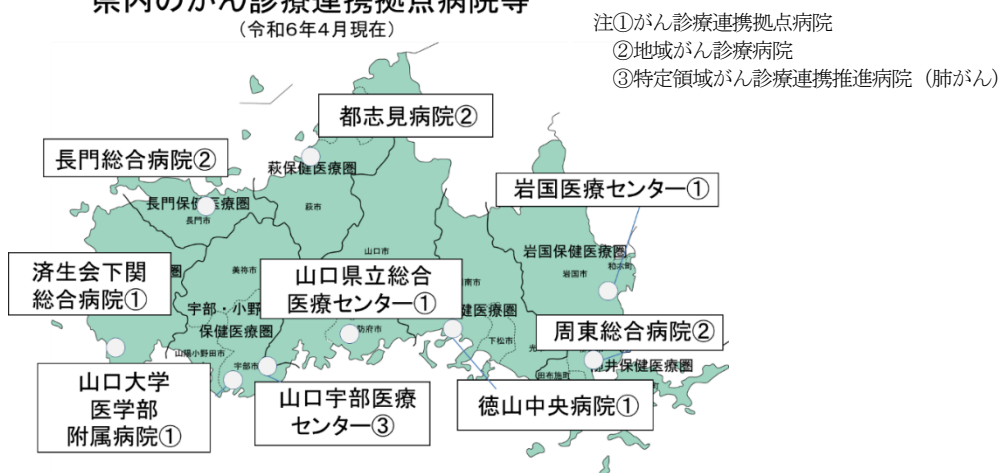
◇ がん医療体制整備事業【医療政策課】

様々ながんの病態に応じて質の高いがん医療を受けることができるよう、体制整備や人材育成を推進するとともに、全国がん登録の実施体制の整備を推進

<がん拠点病院体制整備>

- 1 **がん診療連携拠点病院の機能強化**
 - ・がん診療連携拠点病院等が行う人材育成やネットワーク構築等への支援
- 2 **がん診療施設の施設・設備整備**
 - ・施設・設備整備への助成
(山口大学医学部附属病院、長門総合病院)
- 3 **がん医療人材の育成**
 - ・がん専門医等の資格取得に係る経費助成
(山口大学医学部附属病院、県立総合医療センター)

県内のがん診療連携拠点病院等 (令和6年4月現在)



<緩和ケアの推進>

- 4 **医療従事者の育成及び県民への正しい知識の普及**
 - ・がん診療に携わる医師に対する緩和ケアの基礎的な知識習得のための研修会や、県民対象の講演会の実施
 - ◇研修会
【実施日】令和7年2月9日(日)開催予定 ※県医師会委託
 - ◇講演会
【実施日】令和7年2月23日(日)開催予定 ※徳山中央病院共催

<がん登録の推進>

- 5 **全国がん登録制度の運営やがん登録担当者に対する専門的研修会の実施**
 - ・年2回開催(令和6年6月8日(土)、令和7年2月22日(土))

◇ 地域医療を担う若手薬剤師確保・育成事業【薬務課】

専門人材の育成のための環境整備を図るとともに、認定取得に向けた研修会を開催し、専門医療機関連携薬局の確保を促進

- ・専門医療機関連携薬局などの認定取得に向けた取組について、県内薬局に向け認定薬局普及促進研修会を開催(R7.2.27実施予定)

Ⅲ がん患者及び家族等の療養生活の質（QOL）の向上

◇ がん患者QOL向上支援事業【医療政策課】

がん患者と家族が抱える不安や悩みに応え、生活の質（QOL）の向上を支援するための取組を実施

<相談支援等>

1 がん相談支援体制強化事業

- ・がん患者と家族の多様な悩みに対応する「山口県がん総合相談窓口」を設置

2 がん患者支援事業

- ・がん経験者による相談支援（ピア・サポート）推進のための研修の実施

【実施日】 令和7年1月11日(土)

【参加者】 30名

<アピアランスケアの推進>

3 アピアランスケア推進事業

- ・ピアランスケアや就労支援等の相談支援の推進
- ・アピアランスケア用品の購入費の2分の1（上限3万円）を助成

【助成対象用品】

- ・全頭かつら、ケア帽子、胸部補整具、バスタイムカバー

【補助件数】 243件（令和6年12月末時点）

<妊よう性温存治療への支援>

4 妊よう性温存治療費助成事業

- ・小児、思春期・若年（AYA世代）がん患者に対し、将来に希望をもってがん治療に取り組むことができるよう、がん治療開始前に行う生殖機能（妊よう性）温存治療に係る費用の一部を助成

【主な助成対象治療】

- ・胚（受精卵）、未授精卵子、精子の凍結に係る治療 等
- ・凍結した胚（受精卵）、未授精卵子、精子を用いた生殖補助医療 等

【補助件数】 12件（令和6年12月末時点）